

① 益田翔陽高校が林業カフェを行いました！

10月15日に益田翔陽高校で、生物環境工学科1年生24人に林業カフェを行いました。林業カフェとは、高校生が農大生や林業従事者の方と意見交換を行ったり、チェーンソー体験を行う講座で、気軽に林業の話や体験ができる機会として実施しています。

当日は伸和産業株式会社と株式会社美都森林から2名ずつ計4名の講師と、農林大学校林業科の生徒2名に参加いただき開催しました。

意見交換会では、少人数のグループに分かれて林業を職業として選んだ理由や農林大学校での生活や実習について話を聞きました。

チェーンソー体験では生徒全員が丸太切りを体験し、参加した生徒からは、「初めて使った。怖かったけど楽しかった」「貴重な体験になった」などの感想がありました。

林業就業を目指す生徒さんが増えるよう、今回林業カフェに加えて、今後も林業学習を続けて取り組んでいきます。



カフェの様子



チェーンソー体験

②流域材を使用した豊川公民館の完成見学会を開催しました。

10月17日に高津川流域林業活性化センターが主催し、益田市豊川公民館の完成見学会を開催しました。

新しい豊川公民館は旧公民館横に建設されたもので、豊川公民館・放課後児童クラブが入る木造平屋建てで、渡り廊下2棟、倉庫も併せて高津川流域材を中心におよそ60m³の木材を使用されています。

今回の完成見学会では、製材工場や行政職員など18名が参加し、設計を行った(有)万設計に講師をしていただき、工事の概要や設計のコンセプトの説明をしていただきました。

参加者には豊川公民館に製材品を供給した製材工場の方もあり、出荷した材がどう使われているか実際に見ていただく良い機会になりました。



設計者からの説明



内装の見学の様子

③益田翔陽高校2年生が林業の現場を見学しました！

10月30日(木)に益田翔陽高校生物環境工学科の2年生18名が林業学習で津和野町内の林業専用道の開設現場と伐採現場を見学しました。

最初に訪れた津和野町左鐙の林業専用道「島直地奥山線」の開設現場では、施工業者の方から工事個所の概要を伺った後、現場で使用されているいくつかのICT機器の説明に関心をもって聞いていました。

午後からは同町溪村の伐採現場に移動し、伐採業者が得意とする架線集材の方法や仕組みについて説明を受けた後、現場作業員の方から指導を受けながら、チェーンソーによる玉切りなど林業の現場作業を体験しました。8月に農林大学校(飯南町)でチェーンソーや林業機械の操作を体験している生徒たちは、スムーズに機械操作を行っていました。

高校2年生にもなると、将来について身近なこととして考えている様子うかがえ、この生徒たちの中からも将来「林業」に関わる仕事に就いてみようと思ってくれる方が出てくれることに期待したいです。



施工業者によるICT機器の説明



林業機械の操作体験